

昭和53年度
タンザニア・キリマンジャロ州農業開発計画
巡回指導調査報告書

昭和54年3月

国際協力事業団

416
807
ADT

農 開 技
J R
80-13

昭和53年度

タンザニア・キリマンジャロ州農業開発計画

巡回指導調査報告書

JICA LIBRARY



1063662[9]

昭和54年3月

国際協力事業団

国際協力事業団	
受入 月日 84. 4. 17	416
登録No. 03490	80.7
	ADT

は じ め に

昭和52年11月にわが国の協力により策定されたタンザニア・キリマンジャロ州総合開発計画の実施に関し、昭和53年5月タンザニア政府からわが国に協力要請があった。

本調査はそれを受けて2回に分けて実施され、第一陣チームは昭和53年8月25日から9月17日まで派遣され、キリマンジャロ州総合開発計画に基づいたわが国の協力の全体像について覚書を交わした後、昭和53年9月13日技術協力プロジェクトに関する討議議事録が署名された。

さらに第二陣チームが昭和53年11月4日から11月27日までの間、派遣され、本プロジェクト実施に関し、タンザニア政府関係者と協議を重ね、実施プログラムの策定を行った。

キリマンジャロ州開発は、1968年(昭和43年)9月にわが国に対し協力要請が出されて以来10年間の経緯を有する案件にあり、先方のわが方協力に対する期待には極めて大なるものがあり、本プロジェクトがいよいよ計画段階から実施段階に移行できたことは極めて欣びとするところである。

最後に、本調査に参加していただいた団員各位に厚く御礼申し上げるとともに、外務省、農林水産省を始め、関係諸機関に対し、衷心より感謝の意を表する次第である。

昭和54年3月

国際協力事業団
農業開発協力部長
金 津 昭 治

目 次

I 調査団の概要	1
1. 調査団派遣の経緯および目的	1
2. 調査団の構成	1
3. 調査団の日程	2
II 調査結果の要約と今後の協力量針	3
1. キリマンジャロ州総合開発計画に基づくわが国の協力の全体像	3
2. 農業技術協力の概要	5
3. 今後の協力遂行上の留意事項	5
参 考 資 料	
1. タンザニア・キリマンジャロ州農業開発及び工業開発センタープロジェクト 討議議事録（R/D）	7
2. タンザニア・キリマンジャロ州農業開発及び工業開発センタープロジェクト 討議議事録（R/D）に関する暫定実施計画	18
3. キリマンジャロ農業開発計画実績（調査団および専門家派遣）	39
4. キリマンジャロ総合開発計画協力経緯一覧表	40

I 調査団の概要

1 調査団派遣の経緯および目的

キリマンジャロ総合開発計画については、昭和46年外務省から派遣されたチームの調査を最初として以来、数回の調査団の派遣ならびに農業開発プロジェクトの専門家および工業開発プロジェクトの専門家の協力により、昭和52年11月報告書を完成し、昭和53年2月タンザニア政府へ提出した。

その後、昭和53年5月、同国政府により上記計画で選定された45プロジェクトのうち、優先順位の高い14プロジェクトについて、わが国の協力を要請してきた。

これに対し、わが国はタンザニア側の協力要請プロジェクトのうち、円借款、無償協力、技術協力を含めて6プロジェクトについて協力すべく、わが国の協力の全体像を説明し、その中における技術協力部門の協力についてタンザニア側関係者と協議することとなった。

本調査団の第1陣チームは、外務省および工業プロジェクト担当者を含めて計5名の構成で、わが国の協力可能な全体像の説明ならびに技術協力を開始するため討議議事録を取りまとめることを目的として派遣された。

第2陣チームは、討議議事録に基づく技術協力の暫定実施プログラムを作成することならびに技術協力に関連した無償協力施設の場所の設定、機能、規模等の概略について協議することを目的として派遣された。このため、第2陣チームの全体構成は外務省、工業チーム、建築専門家を含めて計7名であった。

なお、昭和49年12月2日取りまとめられた討議議事録に基づき協力が行われてきたキリマンジャロ農業開発計画のプロジェクトは、キリマンジャロ総合計画書の作成に多大な貢献をなすとともに、わが国の農業技術をタンザニア関係者に十分理解せしめ、次の協力への橋渡しの役目を果し、昭和53年3月31日終了した。今後は、キリマンジャロ総合開発計画の一環として、キリマンジャロ農業開発センターおよびキリマンジャロ工業開発センタープロジェクトとして新たな協力を行うこととなった。

2 調査団の構成

(1) 第1陣チーム 昭和53年8月25日から9月17日まで

団 長 後藤教基 国際協力事業団企画部企画課長

かんがい排水兼業務調整 渡辺光章 国際協力事業団農業開発協力部

農業技術協力課

(2) 第2陣チーム 昭和53年11月6日から11月27日まで

施設計画 菅益次郎 元キリマンジャロ農業開発計画プロジェクトリーダー

3 調査団の日程

(1) 第1陣チーム

月 日	行 程	業 務 内 容
昭和53年8月25日	東 京 発	(1) 日本大使館表敬 (2) 大蔵企画省，総理府，キリマンジャロ州政府とキリマンジャロ総合開発計画の協力に係る全般的協議および技術協力に係る討議議事録の取りまとめ (3) 日本大使館への報告
8月27日	ダルエスサラーム 着	
9月15日	ダルエスサラーム 発	
9月17日	東 京 着	

(2) 第2陣チーム

月 日	行 程	業 務 内 容
昭和53年11月6日	東 京 発	(1) 日本大使館，事業団西川調整員と打合せ (2) 大蔵企画省，総理府表敬および打合せ
11月8日	ダルエスサラーム 着	
11月11日	ダルエスサラームからモシへ移動	(1) キリマンジャロ州政府とキリマンジャロ農業開発センターおよびキリマンジャロ工業開発センター無償協力に関する協議および視察 (2) 農業開発及び工業開発センタープロジェクトの討議議事録に関する暫定実施プログラム(TIP)に係る協議
11月23日	モシからダルエスサラームへ移動	
11月26日	ダルエスサラーム 発	(1) 大蔵企画省，総理府との協議およびTIPの取りまとめ (2) 日本大使館への報告
11月27日	東 京 着	

II 調査結果の要約と今後の協力方針

1 キリマンジャロ州総合開発計画に基づくわが国の協力の全体像

わが国は、キリマンジャロ州総合開発計画(KIDP)作成段階から、KIDP作成に対する協力とその実施に対する協力とは別個のものであり、KIDP実施については、タンザニア政府及びキリマンジャロ州政府の第3次5ヶ年計画(1980年度終了)の枠内で「タ」側の責任で行われるべきであるとのわが方の基本的立場を明らかにしてきた。

しかしながら、「タ」側は当初よりKIDPの実施についても第一義的にはわが国からの協力を期待してきており、既に1974年(昭和49年)から開始している「キリマンジャロ農業開発」技術協力プロジェクト(1974年(昭和49年)12月～1978年(昭和53年)3月)の継続問題及び「キリマンジャロ中小工業開発」技術協力プロジェクトの新規協力開始問題についても、KIDPに対するわが国の協力の全体像の提示があるまでは個別プロジェクトについての協議に応じられないとの立場を明らかにした。

かかる基本的立場に基づき「タ」側は、昭和53年5月KIDPプロジェクト・リストから別表の14プロジェクトを選択し、わが国に対し協力を要請してきた。

これに対し、わが方は、今後3～4年間に協力開始の可能性のある以下の別表に○印を付した6プロジェクトについて、協力を行うべく、調査団を派遣し、昭和53年9月4日Minutes(討議メモ)を作成した。

6プロジェクトのうち「Extension Service」及び「Agricultural Mechanical Service Center」Projectについてはわが方としては両プロジェクトを統合のうえ、「Kilimanjaro Agricultural Development Center」プロジェクトとし、建物は無償協力で、運営は技術協力で実施する予定である。上記6プロジェクトの概要は次のとおり。

(1) 「Lower Moshi Agricultural Development」

Lower Moshi地域11地区約3,000haにおいて、河川、井戸、湧水等を利用したかんがい施設の整備を中心とした農業基盤整備事業(円借款、開発調査)

(2) 「Water Development for Agriculture」

Pare地域のMkomaji Valleyにおける水資源の現状及び新規開発のための調査事業(開発調査)

(3) 「Extension Service」

農業生産の向上を図るため、農業技術の改良並びにその改良された技術の普及を目的として、KADCにおいて、試験、研究及び訓練活動を実施する。

(別表)

KILIMANJARO INTERGRATED PLAN -
SELECTED PROJECTS FOR FOREIGN FUNDING

<u>Name of Projects</u>	<u>Contents</u>
①. Lower Moshi Area Agricultural Development	Upper Msaranga, Lower Miwaleni, Mandaka, Chekereni, Mtakuja and Mabogini.
2. Promotion of Irrigation Scheme	Farm improvement of Pangani Basin, Mkomazi Valley. But water utilization of Lake Jipe shall be emphasized. The detailed investigation of water resources of the remaining districts should also be in parallel with it. This is true for Lower Hai, Rombo and Lake Jipe area.
③. Water Development for Agriculture	Water Surveys in Mount Kilimanjaro areas, Lower Hai, Lower Rombo, North Pare and West Pare. Also, Water Utilization of Lake Jipe shall be emphasized.
④. Extension Service	Involved will be an agricultural technical centre, test farms, and extensions.
⑤. Agricultural Mechanical Service Centre	60 tractors force and a workshop. Also oxenization programmes shall be emphasized.
6. Vegetable Production	Improvement, increase of vegetable production in the whole region. Vegetable and fruits shall be encouraged in the temperate belt above coffee-banana belt.
⑦. Kilimanjaro Industrial Development Centre	Overall industrial development of the whole region. Construction of Moshi head office and workshops Pare Industrial Service Station, Rombo Industrial Service Station, Moshi Industrial Marketing Centre. The Moshi Industrial Estate currently under construction shall be re-enforced with machinery.
8. Road Improvement	Improvement, rehabilitation of regional and district roads especially feeder roads development in Pare and Rombo. Hai and Moshi rural shall be taken up by USAID from Arusha.
9. Road Maintenance	Pare and Rombo Districts. Road maintenance system shall be improved by re-enforcement of maintenance equipment, vehicles and workshops.
10. Housing Supply	Some 2,740 units in Moshi, Same, Boma Ng'ombe and Mkuu, by some low-interest loans by external finance through T.H.B.
11. Roads and Streets (urban)	Primary and Secondary distributors for Moshi, Same, Boma Ng'ombe and Mkuu.
12. Sewage Service	Sewers, Sewage disposal treatment plants for Moshi and Same.
⑬. Electircity Supply	Transmission lines, substations through out the rural and urban areas.
14. Rural Water Supply	Pipe lines, single and low cost treatment plants for rural areas.

注：○印は、わが国が協力する可能性のあるプロジェクトを示す。

(4) 「Mechanical Service」

キリマンジャロ州における機械化農業を促進させるため、KADCにおいて、営農上の機械の効果的利用並びに修理技術の修得を目的として、トレーニングを実施する。

(5) 「キリマンジャロ工業開発センター」

キリマンジャロ州工業開発の拠点施設の建設整備事業及びその建設準備段階を含め同施設を中心とした技術協力を行う。

(6) 「Electricity Supply」

送電線の敷設、変電設備、配電設備の設置等を内容とする電化計画事業（円借款、開発調査）

2. 農業技術協力の概要

キリマンジャロ州総合開発計画に基づいた Implementation として、わが国が協力する範囲は前述のとおりであるが、そのうち農業分野における技術協力は「Extension Service」及び「Mechanical Service」プロジェクトが中心となり「Lower Moshi Agricultural Development」及び「Water Development for Agriculture」の両プロジェクトの円滑な推進を図るための支援が主な業務となる。

これらの協力実施の前提条件として、Kilimanjaro Agricultural Development Center (KADC) の建設が必要であり、KADCは別途、モン市の中心から約 15 km 離れたチェケレニ村に無償協力により、昭和 54 年度着工の予定である。

KADCは、専門家事務室及び講義室等から成るオフィスビル、研修生のための寄宿舎並びに機械修理工場、穀物処理加工場、機械納庫、収穫物倉庫等から構成され、キリマンジャロ州における農業技術の中核センターとしての機能を司るものである。

KADCには日本から、かんがい排水、栽培等 9 名（業務調整を含む）の専門家を派遣し、タンザニア側カウンタートに対する技術的指導を行うとともに、栽培及び農業機械を中心とした営農技術については「タ」側の役人及び農民を対象に講義及び現場実習から成る訓練を実施し、キリマンジャロ州農業開発のための指導的役割を担う農業技術者を養成する。

現場実習のための試験圃場（約 10 ha）は、チェケレニ村のKADC建物の場所の近傍に技術協力ベースによる基盤整備事業で建設する予定であり、そこで農業技術の現地適応性試験と農民等に対する農業技術訓練を行う。

詳細は、参考資料の討議議事録及び暫定実施プログラムを参照。

3. 今後の協力遂行上の留意事項

昭和 53 年 2 月の政府派遣アフリカ経済使節団（所謂河野ミッション）の「タ」国訪問

時等の様々な機会に、「タ」国政府はわが国のK I D P 協力実施遅延に対するいらだちの念を表明しており、また対K I D P 協力の大枠提示問題とからみ「キ」州に対する技術協力プロジェクトの実施が半年以上も棚上げとなるなど対K I D P 協力をめぐるこれまでの経緯は決して平坦なものではなかった。

「タ」国に対するわが国の過去の協力経緯について客観的評価はともかく、少なくとも「タ」側のわが方に対する不信感は根強いものであり、その対日不信感の背景にある一番大きなものは、1968年(昭和43年)にわが国に対し協力要請を出して以来10年間調査以外見るべき協力実績がほとんど無いという事実の存在である。(1968年(昭和43年)当時の要請と第3次5ヶ年計画を前提とした1974年(昭和49年)の総合開発計画の作成要請とは質的に同一に論じ得ないものであるが、1974年(昭和49年)の要請から数えても最終報告書作成まで3年間、更に今次協議まで4年間かかっている。)K I D P 作成の遅延については種々の事情があり、この点はさておくとしても対K I D P 協力をめぐる日・タ双方の基本姿勢については当初から行き違いがあり、これが「タ」側の対日不信感の主な原因になっていると言えよう。即ち、わが方は協力の当初から開発計画の作成と実施とを切り離し、開発計画実施に対する協力については一切コミットしてこなかったが、「タ」側は当初、わが国が開発計画の作成のみならずその実施まで一貫して協力してくれるものと素朴にかつ一方的に過大な期待を抱いていたきらいがある。しかしながらその後の推移は必ずしも「タ」側の期待通りではなく、当初単純にわが方の協力を信じていただけに、その裏返しとして、今般、わが方としてK I D P に対し本格的な協力を取り進めて行こうとの基本方針を固めた後も、わが方から明確かつ包括的なコミットを取り付けないと再び期待だけに終るとの懸念を強めていた模様である。

従って、わが国はこの様な背景を十分に認識し今後 Implementation を進めてゆくに当たっては、「タ」との意思の疎通を十分に図り、迅速かつ有効な協力を行い、一日も早く所期の目標を達成することが望れる。

参考資料 1. タンザニア・キリマンジャロ州農業開発及び工業開発センター
プロジェクト討議事録 (R/D)

THE RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM (NEGOTIATION TEAM) AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE UNITED REPUBLIC OF TANZANIA ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE IMPLEMENTATION OF KILIMANJARO AGRICULTURAL DEVELOPMENT CENTER AND KILIMANJARO INDUSTRIAL DEVELOPMENT CENTER PROJECTS

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA) and headed by Mr. Michimoto Goto, Director of the Planning Division, the Planning Department, Japan International Cooperation Agency, visited the United Republic of Tanzania from 27th August 1978 to 13th September 1978 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning Kilimanjaro Agricultural Development Center (hereinafter referred to as KADC) and Kilimanjaro Industrial Development Center (hereinafter referred to as KIDC) Projects in the United Republic of Tanzania.

During its stay in the United Republic of Tanzania, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Tanzanian authorities concerned in respect of the necessary measures to be taken for the immediate implementation of the above-mentioned Projects.

As a result of the discussions, the Team and the Tanzanian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the United Republic of Tanzania will cooperate in implementing KADC and KIDC Projects (hereinafter referred to as "the Projects") for the purpose of contributing to the promotion of the regional development in Kilimanjaro Region through the agricultural development project which aims at the improvement of agricultural infrastructure and the increase in productivity and through the industrial development project which aims at the establishment of the industrial infrastructure and the promotion of industrialization.
2. (1) The Projects which will be implemented by the Government of Japan and the

Government of Tanzania will comprise of the completion of the buildings and facilities necessary for the implementation of the Projects as outlined in Annex I.

- (2) The Projects will be implemented in accordance with the annual work plan to be formulated by the Regional Management Team (hereinafter referred to as RMT).

II. DISPATCH OF EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in Annex II through normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan and Tanzania.
2. The Japanese experts referred to in 1 above and their families will be granted in the United Republic of Tanzania the privileges, exemptions and benefits as listed in Annex III and normal privileges, exemptions and benefits given to the similar experts in Tanzania.

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials necessary for the implementation of the Projects as listed in Annex IV, through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.
2. The articles referred to in 1 above will become the property of the Government of the United Republic of Tanzania upon being delivered c.i.f. to the Tanzanian authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Projects.

IV. TRAINING OF TANZANIAN PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Tanzanian personnel connected with the Projects for technical training in Japan through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.
2. The Government of the United Republic of Tanzania will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Tanzanian personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Projects.

V. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE UNITED REPUBLIC OF TANZANIA

1. In accordance with the laws and regulations in force in the United Republic of Tanzania, the Government of the United Republic of Tanzania will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Tanzanian counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex V;
 - (2) Land, temporary buildings and facilities necessary for the activities at the beginning of the Projects;
 - (3) Supply of replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Projects other than those provided through JICA under III above;
 - (4) Whenever necessary, transportation facilities and travel allowance for the Japanese experts for the official travel within the United Republic of Tanzania;
 - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families to the best of its capacities.
2. In accordance with the laws and regulations in force in the United Republic of Tanzania, the Government of the United Republic of Tanzania will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for the transportation within the United Republic of Tanzania of the articles referred to in III above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the United Republic of Tanzania on the articles referred to in III above;
 - (3) All running expenses necessary for the implementation of the Projects.

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECTS

1. The Regional Development Director (hereinafter referred to as RDD) of Kilimanjaro Region, will bear overall responsibility for the implementation of the Projects under the supervision of Prime Minister's Office.
2. The Japanese experts will take the appropriate care on the technical matters and provide the advisory services on technical and managerial matters for the Projects in close collaboration with the Tanzanian counterpart personnel concerned.

3. The activities for the implementation of the Projects will be carried out by the Tanzanian counterparts personnel with an assistance of the Japanese Experts.
4. (1) A Regional Management Team shall be empowered to ensure successful and effective implementation of the Projects.
(2) The meeting of RMT, under the chairmanship of RDD, will be held regularly.
(3) Japanese experts will attend the meeting of RMT as advisors.

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the United Republic of Tanzania undertakes to bear claims, if any arises against the Japanese experts engaged in the Projects resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the United Republic of Tanzania except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

IX. TERM OF COOPERATION

This Record of Discussions will be effective from the date of its signing and will be terminated after four (4) years from this date, or otherwise terminated or extended by mutual consultation.

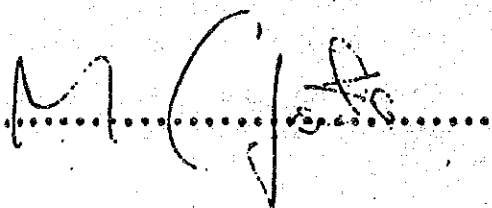
Dar es Salaam, September 13, 1978

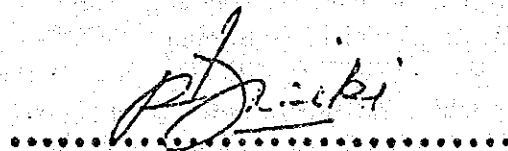
FOR THE JAPANESE DELEGATION

Michimoto Goto
Director of the Planning Division
Planning Department
Japan International Cooperation Agency

FOR THE TANZANIAN DELEGATION

Richard E. Mariki
Director of External Finance,
Ministry of Finance and Planning


.....


.....

ANNEX I. ACTIVITIES FOR THE PREPARATORY STAGE

During the preparatory Stage, the Projects will consist of the following functional activities:

A. Kilimanjaro Agricultural Development Centre Project

1. Activities for the Preparatory Stage

(1) Technical Advice and Supervisory Works

Technical advice and supervisory works will be provided to carry out the following activities;

- To conduct planning and survey to improve agricultural infrastructure in Lower Moshi Area (about 3,000 ha) which includes pumping station, irrigation and drainage canal and farm road;
- To conduct surveys for water resources developemnt in Mt. Kilimanjaro area, Lower Hai area, Lower Rombo area, North Pare area, and West Pare area.
- To construct buildings and utilities of the KADC;
- To establish facilities of the Agricultural Mechanical Center.

(2) Establishment of Trial Farm

A trial farm (10 ha) will be constructed in Chekereni and Mtakuja villages. Following activiteis will be carried out;

- To conduct studies and designing for a traial farm;
- To construct the traial farm;
- To cultivate rice and vegetables in the trial farm;
- To test the cultivation techniques for rice and vegetables to apply to other areas in Lower Moshi.

(3) Extension Services

Extension services will be conducted to farmers by mobile units in order to improve the technique of;

- Cultivation for rice and vegetables;
 - Agricultural machinery with spare parts provided in Section III above for better use and repair.
- (4) Training of Manpower
- On-the-job training will be carried out by the Japanese experts in consultation with the Tanzanian counterpart personnel.
 - Appropriate Tanzanian counterpart personnel will be trained in Japan.
- (5) Planning and Coordination
- Detailed implementation programme will be made up in consultation with the Tanzanian counterpart personnel.
 - Coordination among various functional activities and programmes will be made in consultation with Tanzanian counterpart personnel.

B. Kilimanjaro Industrial Development Center Project

1. Activities for the Preparatory Stage

(1) Studies and Surveys

- Surveys will be conducted to establish feasible workshops (foundry, forging, mechanical engineering and testing facilities) and pilot factories (ceramic and briquet) on raw materials, supplementary goods, order-made products to be produced.
- Feasibility studies will be conducted to identify the potential industries for investment.

(2) Technical Advice and Supervisory Works

Technical advice and supervisory works will be provided to carry out the following activities;

- To construct buildings and utilities of the KIDC and its annexes;
- To establish common facilities and pilot factories in the Moshi Industrial Estate, and other facilities in the extensional service stations (Rombo and Pare Industrial Stations) and unit (Moshi Exhibition Unit) of the KIDC;

- To select and make specifications of machines and equipment to be installed in the factories in the Moshi Industrial Estate.

(3) Industrial Promotion Services

- Industrial Promotion services will be provided by mobile units on technological matters, marketing methods, management methods, new investments, etc.;

(4) Training of Manpower

- On-the-job training will be carried out by the Japanese experts in consultation with the Tanzanian counterpart personnel.
- Appropriate Tanzanian counterpart personnel will be trained in Japan.

(5) Planning and Coordination

- Organization of the KIDC will be set up in accordance with the normal Government machinery in this Region.
- Detailed implementation programmes will be made up in consultation with the Tanzanian counterpart personnel.
- Coordination among various functional activities and programmes will be made in consultation with the Tanzanian counterpart personnel.

ANNEX II JAPANESE EXPERTS

1. Project Manager

(A.) Agricultural Team

2. Team Leader

3. Experts in the fields of;

Irrigation and Drainage
Land Consolidation
Water Resources
Agronomy
Agricultural Machinery
Extension

(B.) Industrial Team

4. Team Leader

5. Experts in the fields of;

Management
Mechanical Engineering
Electroplating
Foundry
Forging
Earthenware
Briquet

- Notes:
1. Agricultural or Industrial Team Leader may assume the post of Project Manager concurrently.
 2. If necessary, short term experts will be dispatched.
 3. Above Annex II is subject to change by mutual consultation between the two Governments.

ANNEX III PRIVILEGES, EXEMPTIONS, AND BENEFITS

1. Exemptions from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.
2. Exemptions from import and export duties and any other charge in respect of personal and household effects, including one motor vehicle per family, which may be brought into the United Republic of Tanzania from abroad.
3. Free medical services and facilities to the Japanese experts and their families.

ANNEX IV. LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

A. Kilimanjaro Agricultural Development Centre Project

1. Construction machinery and equipment, including pumps and their accessories, and their spare parts
2. Agricultural machinery and implements and their spare parts
3. Machines and tools for repair work
4. Equipment and materials for public utilities
5. Vehicles

B. Kilimanjaro Industrial Development Centre Project

1. Mobile units with tools and equipment for industrial extension services
2. Machines and tools for training purposes
3. Machines and tools for repair work
4. Vehicles

Note: Other necessary machines, equipment, tools and materials to be mutually agreed upon the implementation of the Project.

ANNEX V LIST OF TANZANIAN PERSONNEL

A. Kilimanjaro Agricultural Development Centre Project

1. Project Director
2. Engineer
3. Staff
4. Worker
5. Driver

B. Kilimanjaro Industrial Development Centre Project

1. Project Director
2. Department Manager
3. Engineer
4. Staff (Qualified and Non-qualified)
5. Worker
6. Secretary
7. Driver

Note: Above Annex V is subject to change by mutual consultation between the two Governments.

参考資料 2. タンザニア・キリマンジャロ州農業開発及び工業開発
センタープロジェクト討議議事録に関する暫定実施計画

TENTATIVE IMPLEMENTATION PROGRAM
FOR THE
KILIMANJARO AGRICULTURAL DEVELOPMENT CENTER
AND
KILIMANJARO INDUSTRIAL DEVELOPMENT CENTER

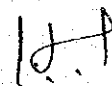
Within the scope of the Record of Discussions signed on September 13, 1978, the representatives of Japan International Cooperation Agency and Kilimanjaro Regional Development Director's Office have jointly formulated the Tentative Implementation Program for the implementation of Kilimanjaro Agricultural Development Center and Kilimanjaro Industrial Development Center Projects.

This Tentative Implementation Program is subject to change in accordance with the progress of implementation of the Projects.

November 25, 1978


KANETAKE NISHIKAWA

Representative
Japan International
Cooperation Agency
in Tanzania


HORACE KOLUMBA
Principal Secretary
Prime Minister's Office

I. Kilimanjaro Agricultural Development Center Project

1. Objectives

Kilimanjaro Agricultural Development Center Project (hereinafter referred to as KADC) aims at contributing to the promotion of agricultural development in Kilimanjaro region through the improvement of agricultural infra-structure, cultivation techniques and mechanized agriculture and their extension.

2. Functions and Facilities

KADC has the following functions and facilities to achieve its objectives:

- (1) To plan and supervise construction of agricultural infra-structure such as irrigation canals and farm roads

Facilities: Office Rooms with Design Equipment

- (2) To improve cultivation techniques for agricultural development in Lower Moshi Area

Facilities: Trial Farm (10ha)

Experimental Facilities

- (3) To diffuse agricultural techniques by extension services

Facilities: Agricultural Mechanical Service Center

Mobile Unit

Garage

- (4) To train manpower

Facilities: KADC

- (5) To plan and coordinate the activities of KADC

Facilities: Office Room

Meeting Room

Car Park

3. Programs

(1) Program for the Activities of KADC

Chart 1 shows the tentative program for the activities of KADC by function for four years stipulated in the Record of Discussions.

(2) Program for the Dispatch of Japanese Experts

Chart 2 shows the tentative program for the Japanese Experts to be dispatched to KADC.

(3) Program for the Training of Tanzanian Personnel

Chart 3 shows the tentative program for the training of Tanzanian personnel in Japan.

(4) Special Support by the Japanese Side

Japan International Cooperation Agency provides the following special support to the KADC by dispatching experts teams wherever necessary;

Technical Support Team

Evaluation Team

4. Organization

(1) Staffing

Chart 4 shows the organization and staffing plan of the KADC during four years stipulated in the Record of Discussions.

(2) Job Description of the Staff

A. Japanese Experts

a. Team Leader

- (i) To advise and assist the Tanzanian Project Director for programming, operation and administration of the project.
- (ii) To coordinate the activities of Japanese Experts attached to the project as the head of the Japanese team.
- (iii) To represent Japanese Experts in KADC and KIDC as necessity arises.

b. Experts

- (i) To advise and assist Tanzanian counterparts in their respective fields.
- (ii) To provide farmers with technical guidance in their respective fields.

c. Liaison Officer

- (i) To support the Japanese Team Leader and Experts for programming and administration of the Project.
- (ii) To conduct accounts work and others in accordance with the regulations in force in Japan and to take charge of contract business concerning construction of Trial Farm.
- (iii) To prepare the progress reports on the achievement of targets of the Project which are to be submitted to both Tanzanian and Japanese authorities concerned.

B. Tanzanian Counterparts

a. Project Director

- (i) To manage and coordinate all the operational activities for the implementation of the Project.
- (ii) To manage all the Tanzanian personnel engaged in the Project.

b. Technical Staff

- (i) To prepare and implement the detailed action programs in their respective fields.
- (ii) To submit progress report to the Project Director in their respective fields.

5. The Government of Japan will consider the construction of buildings and equipment of KADC as will be agreed between the two Governments.

6. The Government of Tanzania will take necessary measures to enable the Government of Japan to expedite the construction of buildings of KADC as follows;

- (1) To secure the land necessary for the construction of buildings of KADC and to readjust it.
- (2) To prepare for facilities such as electric supply, water supply, drainage and other incidental facilities outside the site if necessary.

7. Temporary Facilities

For the Preparatory Stage, the following facilities are temporarily secured by the Tanzanian side;

Office room , Meeting room , Garage, Others

8. Machinery and Equipment

Following machinery and equipment will be provided by the Japanese side;

Furniture

Equipment for documentation

Audio-visual aids

Vehicle

Refrigerator

Machinery and equipment with attachment for soil preparation

Machinery and equipment with attachment for cultivation and processing

Experimental equipment

Agricultural tool

Construction machinery and equipment for trial farm

Machine and tool for repair work

Equipment for survey

Boring machine with attachment for well

Equipment for water supply on trial farm

Fertilizer and pesticide

Others

Chart 1. Program for the Activities of KADC

Activities	Contents	Section in Charge	Schedule
1 Establishment of Trial Farm	<p>A. Design of Trial Farm</p> <p>B. Construction of Trial Farm</p> <p>C. Test for applicability of the improved farming techniques</p> <p>D. Field Practice for training</p>	<p>A. Survey and Planning Sec.</p> <p>A. Improvement of Farming Technique Sec.</p> <p>A. Training and Extension Sec.</p> <p>B. Construction Sec.</p> <p>C. Improvement of Farming Technique Sec.</p> <p>D. Training and Extension Sec.</p>	<p>A. Early in 1979</p> <p>B. Late in 1979</p> <p>C. 1980 ~</p> <p>D. 1980 ~</p>
2 Training in KADC Trainees will be selected in Lower Moshi Area, but those in other areas in Kilimanjaro region also attend the training by permission of R.D.D.	<p>In KADC, following training courses will be conducted during four years stipulated in the Record of Discussions.</p> <p>A. Cultivation Course Lecture : At Site Office of KADC Practice : At Trial Farm</p> <p>B. Agricultural Machinery Course Lecture : At Site Office of KADC Practice : Repair work at Agricultural Mechanical Center Better use work at Trial Farm</p> <p>C. Agricultural Extension Course Lecture : At Site Office of KADC Practice : At Trial Farm and Farmfield in this area</p>	<p>A. Training and Extension Sec.</p> <p>A. Improvement of Farming Technique Sec.</p> <p>B. Training and Extension Sec.</p> <p>C. Training and Extension Sec.</p>	<p>A. Immediately after completion of KADC facilities</p> <p>B. -do-</p> <p>C. -do-</p>
3 Technical Advice and Supervisory works	<p>A. A series of basic studies for following matters :</p> <p>a. Improvement works agricultural infrastructure in Lower Moshi Area (about 3000 ha)</p> <p>b. Water resources development in Kilimanjaro region</p> <p>B. Construction works of agricultural infrastructure in Lower Moshi Area</p>	<p>a. Survey and Planning Sec.</p> <p>b. -do-</p> <p>B. Construction Sec.</p>	<p>a. 1979 ~</p> <p>b. -do-</p>

Foot Note : 1 This program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.

2 This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the " Record of Discussions".

Chart 2. Program for the Dispatch of Japanese Experts

Field	Fiscal Year	1978	1979	1980	1981	1982
(Construction of Buildings and Facilities)		Basic Design	Detail Design EW	Construction		
1 Team Leader						
2 Irrigation and Drainage						
3 Land Consolidation						
4 Water Resources						
5 Agronomy (two persons)						
6 Agricultural Machinery						
7 Extension						
8 Liaison Officer						

Foot Note : 1 This program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.

2 This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the " Record of Discussions " .

3 Tanzanian side suggested to have one Liaison Officer for KADC and KIDC.

Chart 3. Program for the Training of Tanzanian Personnel

(Unit : Person)

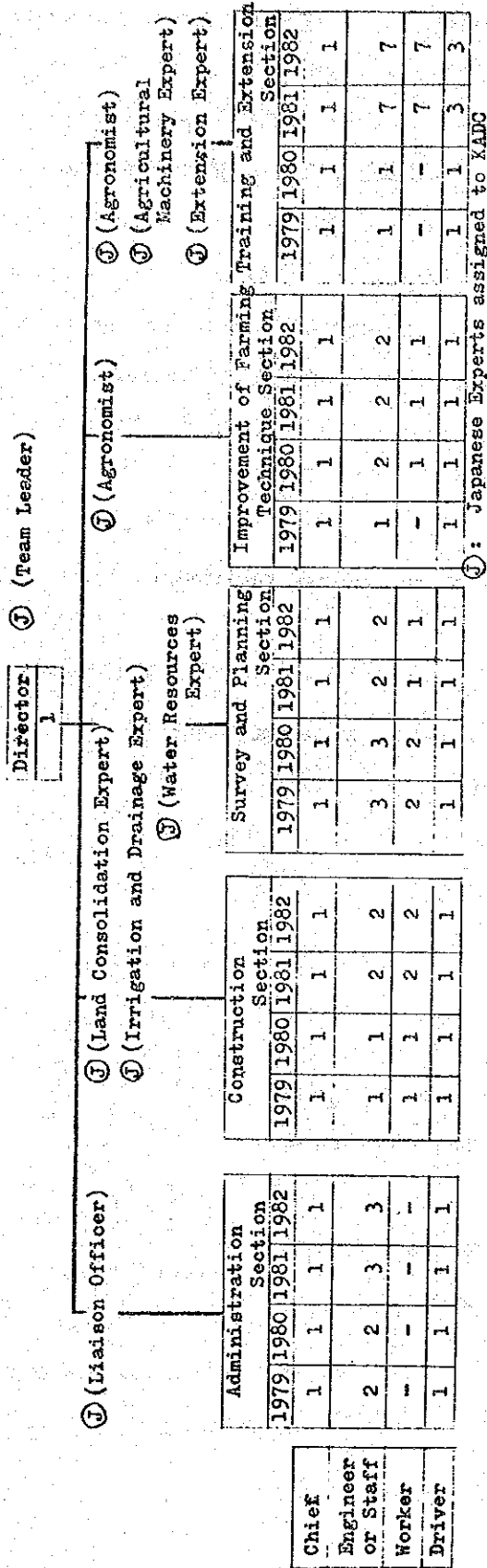
Field	1978	1979	1980	1981	1982
1 Study Tour (about 3 weeks)		2 (2)	(2)		2 (0)
2 Training					
(1) Irrigation and Drainage		1 (3)	1 (1)	1 (1)	
(2) Land Consolidation		(2)	1 (1)		1 (1)
(3) Water Resources		(2)	1 (1)	1 (1)	
(4) Agronomy		1 (1)		1 (1)	1 (1)
(5) Agricultural Machinery		(2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
(6) Extension				1 (1)	1 (1)
Total		4 (12)	4 (6)	5 (5)	6 (4)

() is requested by Tanzanian side.

Foot Note : 1. This program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.

2. This scope Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the "Record of Discussions".

Chart 4. Organization and Staffing Plan of KADC



Tanzanian Annual Staffing Plan

	1979	1980	1981	1982
Director	1	1	1	1
Chief	5	5	5	5
Engineer or Staff	8	9	16	16
Worker	3	4	11	11
Driver	5	5	7	7
Total	22	24	40	40

Foot Note: 1 This program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the Project.

2 This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the "Record of Discussions".

3 Number of part time labourers and watchmen is excluded from the figures.

4 Agricultural Mechanical Service Center is one of the facilities of Training and Extension Section.

II. Kilimanjaro Industrial Development Center Project

1. Objectives

This Project aims at establishing Kilimanjaro Industrial Development Center (hereinafter referred to as KIDC) as a regional organization, which will develop small scale industries in Kilimanjaro region by providing technical assistance, extension services and manpower training as well as conducting programming and coordination of the activities on the basis of research and development to be undertaken by KIDC.

2. Functions and Facilities

KIDC has the following functions and facilities to achieve its objectives:

(1) Functions

a. Development of Appropriate Technologies in;

- * Repair and Maintenance
- * New Production Technology
- * Inspection and Testing
- * Product Development
- * Quality Control

b. Promotion of Appropriate Technologies in;

- * Establishment of New Industries
- * Extension Service
- * Consultancy and Information Service
- * Marketing Assistance

c. Training of Manpower;

- * Staff Training (in Japan and Tanzania)
- * Participants Training (Group training in Tanzania)
- * Workers Training in New Industries (On -the- job training in Tanzania)

d. Programming and Coordination;

- * Feasibility Studies
- * Investment Planning
- * Preparation of Detailed Programs of Activities
- * Coordination of Activities

(2) Facilities

a. Administration Building of KIDC

- * Office Room
- * Working Room
- * Meeting Room
- * Gar Park

b. Accommodation

- * Dormitory for Trainees
- * Other Necessary Facilities

c. Workshops

- * Foundry Workshop
- * Forging Workshop
- * Mechanical Engineering Workshop
- * Testing and Inspection Facilities

d. Pilot Factories

- * Ceramic Factory
- * Briquet Factory

e. Other Instrumental Facilities

- * Rombo Industrial Promotion Station
- * Pare Industrial Promotion Station
- * Moshi Industrial Exhibition Unit

3. Programs

(1) Program for the Activities of KIDC

Chart 5 shows the tentative program for the activities of KIDC by function for four years.

(2) Program for the Assignment of Japanese Experts

Chart 6 shows the tentative program for the Japanese Experts to be assigned at KIDC.

(3) Program for the Training of Manpower

Chart 7 shows the tentative program for the training of Tanzanian personnel.

- a. Staff training is conducted in Japan and Tanzania for those who are expected to become chiefs and/or instructors of KIDC.
- b. Participants training is conducted for would-be skilled workers in specific industries.
- c. Workers training is conducted for the factory workers in new industries.

(4) Special Support by the Japanese Side

Japan International Cooperation Agency provides the following special support to KIDC by dispatching experts teams wherever necessary;

Installation Experts Team

Technical Support Team

Evaluation Team

4. Organization

(1) Staffing

Chart 8 shows the organization and staffing plan of the KIDC during the Preparatory Stage.

(2) Job Description of the Staff

A. Japanese Experts

a. Team Leader

- (i) To advise and assist the Tanzanian Project Director for programming, operation and administration of the Project.
- (ii) To coordinate the activities of Japanese Experts attached to the Project as the head of the Japanese team.
- (iii) To represent Japanese Experts in KADC and KIDC as necessity arises.

b. Experts

- (i) To advise and assist Tanzanian counterparts in their respective fields.
- (ii) To provide existing industries with technical guidance in their respective fields.

c. Liaison Officer

- (i) To support the Japanese Team Leader and Experts for programming and administration of the Project.

(ii) To conduct accounts work and others in accordance with the regulations in force in Japan and to take charge of contract business.

(iii) To prepare the progress reports on the achievement of targets of the Project which are to be submitted to both Tanzanian and Japanese authorities concerned.

B. Tanzanian Counterparts

a. Project Director

(i) To manage and coordinate all the operational activities for the implementation of the Project.

(ii) To manage all the Tanzanian personnel engaged in the Project.

b. Technical Staff

(i) To prepare and implement the detailed action programs in their respective fields.

(ii) To submit progress report to the Project Director in their respective fields.

5. The Government of Japan will consider the construction of buildings and equipment of KIDC as will be agreed between the two Governments.

6. The Government of Tanzania will take necessary measures to enable the Government of Japan to expedite the construction of buildings of KIDC as follows;

(1) To secure the land necessary for the construction of buildings of KIDC and to readjust it;

(2) To prepare for facilities such as electric supply, water supply, and other incidental facilities outside the site if necessary.

7. Temporary Facilities

For the Preparatory Stage, the following facilities are temporarily secured by the Tanzanian side;

Office room, Meeting room, Workshop, Garage and Others.

8. Machinery and Equipment

Following machinery and equipment will be provided by the Japanese side;

- * Cupola
- * Shot blast
- * Moulding machine
- * Air hammer
- * Oil furnace
- * Cutting machine
- * Engine lathe
- * Milling machine
- * Planer
- * Equipment for material testing
- * Crusher
- * Kiln and furnace
- * Dryer
- * Carbonization furnace
- * Drilling machine
- * Tool
- * Machinery and equipment of new industries for leasing purpose;
 - Drawing pin
 - Chisels and carpentry tool
 - Sheet metal fabrication
 - Hand sprayer

Sensitized paper

Oil extraction

Scrap metal sorting and treatment

U-type cement block

Oil revitalization

Wheel barrow

* Equipment for documentation

* Audio-visual aids

* Furniture

* Refrigerator

* Mobile unit

* Vehicle

* Others

Chart 5. Program for the Activities of KIDC

Functions	Functional Activities	1979	1980	Immediately after the Completion of KIDC Facilities
(1) Development of Appropriate Technology	Repair and Maintenance New Production Technology Inspection and Testing Quality Control Product Development	* Research on the needs of sub-materials, availability of raw materials, energy and tools	* Research continued * Installation and test-run of machinery and equipment	* Production continued * Testing and analysis continued * Trial production continued * Improvement of design of products
(2) Promotion of Appropriate Technology	Establishment of new Industries Extension Service Consultancy and Information Service Marketing Assistance	* Establishment of new industries * Extension service by mobile unit * Market research * Consultancy on technological problems	* Establishment of new industries * Extension service continued * Consultancy continued	* Establishment of new industries * Extension service continued * Consultancy and Information service continued * Marketing promoted
(3) Training of Manpower	Staff Training Participants Training Workers Training in New Industries	* Staff training in Japan	* Staff training in Japan and Tanzania * Workers training for four months	* Staff training in Tanzania * Workers training * Participants training in 6 Beginners courses
(4) Programming and Coordination	Feasibility Studies Investment Planning Programming of Activities Coordination of Activities	* Studies on new industries * Action program making for the Preparatory Stage * Organizational set-up	* Studies and planning continued * Programming for Phase I * Organizational set-up * Coordination	* Studies and planning continued * Programming continued * Coordination continued

Foot Note: 1. This program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the project.
2. This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the "Record of Discussions."

Chart 6. Program for the Assignment of Japanese Experts to KIDC

Items	Fiscal Year	1976	1979	1980	1981	1982
(Construction of Buildings & Facilities)		Basic Design	E/N Detail Design Tender	Construction		
Team Leader			2 9 / 2	2 6 / 0		
Mechanical Engineer			3 4	2 6 / 0		
Machining Expert						
Foundry Expert			3 6 / 2			
Forging Expert in Forming			3 9	2 6 / 0		
Heat Treatment Expert						
Management Expert			3 9			
Ceramic Expert			11 2	2 6 / 0		
Briquet Expert			11 2	2 6 / 0		
Wood Pattern Expert				11 2	3 4	3 4
Short Term Experts				10	6	
Installation Experts						
New Industries			2 7			
Liaison Officer			11 2	7		

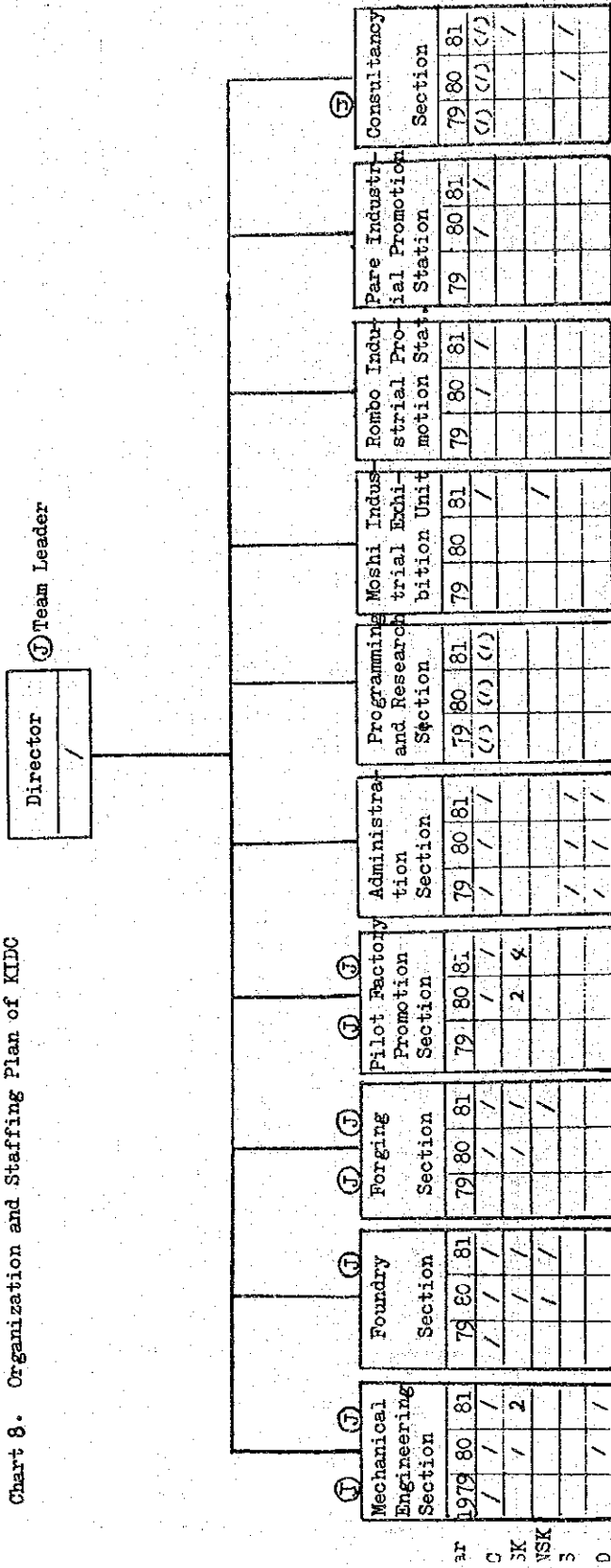
Foot Note: 1. This Program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the project.
 2. This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the "Record of Discussions."
 3. Tanzanian side suggested to have one Liaison Officer for KAI and KIDC.

Chart 7. Program for the Training of Tanzanian Personnel

Trainings	Fields of Training	1979	1980	1981	1982
Staff Training	A: Training in Japan	A-(1)		A-(1)	A-(1) → B-(1)
	B: On-the-job training in Tanzania	A-(1) → B-(1)	A ² -(1) → B ² -(1)	A-(1) → B ² -(1)	
	s: Skilled worker	A-(1) → B-(1)		A-(1) → B-(1), A ² -(1) → B ² -(1)	A-(1) → B-(1)
	(): Number of persons	A-(1) → B-(1)	A-(1) → B-(1), A ² -(1) → B ² -(1)	A-(1) → B-(1), A ² -(1) → B ² -(1)	A-(1) → B-(1)
		A-(1)	A-(1)	A-(1)	
					6M
					6M
					6M
					6M
					3M
Workers Training in New Industries	1st Group	47			
	2nd Group		47		
	3rd Group			47	

Foot Note: 1. This Program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the project.
 2. This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the "Record of Discussions."

Chart 8. Organization and Staffing Plan of KIDC



Tanzanian Annual Staffing Plan

Ab.	Staff	1979	1980	1981	1982
C	Chief	3	7	8	8
SK	Skilled Worker		5	9	9
NSK	Non-skilled W.		/	3	3
S	Secretary	/	2	2	2
D	Driver	/	2	2	2
	Total	6	18	25	25

J: Japanese Experts assigned to KIDC

Foot Note: 1. This Program is subject to conditions that necessary budget will be acquired for the implementation of the project.

2. This Scope of Technical Cooperation is subject to change, if necessity arises in the future, within the scope of the provisions given in the "Record of Discussions."

RE; Number of part-time laborers and watchmen is excluded from the figures.

参考資料 3. キリマンジャロ農業開発計画実績

(1) 調査団派遣

昭和48年3月22日～4月18日	「東アフリカ地域・プロジェクトファインデング調査団」城下強団長他3名
〃 48年11月1日～12月5日	「タンザニア・キリマンジャロ農業開発実施計画調査団」渡会末彦団長他6名
〃 49年11月14日～12月4日	「タンザニア・キリマンジャロ農業開発R/Dとりまとめチーム」赤塚恵団長他4名
〃 51年1月22日～3月5日	「タンザニア・キリマンジャロ農業開発実施設計調査団」磯崎義正団長他5名
〃 51年2月19日～3月5日	「タンザニア・キリマンジャロ農業開発巡回指導調査団」横井肇団長他3名
〃 52年2月25日～3月11日	タンザニア・キリマンジャロ農業開発計画計画打合せ調査団」渡会末彦団長他2名
〃 53年3月6日～3月28日	「タンザニア・キリマンジャロ農業開発巡回指導調査団」(工業開発プロジェクトも同行)農業チームは西脇重義他3名

(2) 専門家派遣

昭和50年3月4日～昭和53年1月3日(水資源開発)	東郷昭彦
〃 50年3月13日～〃 53年1月31日(調整)	野田兼義
〃 50年7月17日～〃 53年1月31日(プロジェクト・リーダー)	菅益次郎
〃 50年7月17日～〃 52年7月16日(栽培)	野田昌治
〃 50年7月17日～〃 52年7月17日(〃)	坂本治彦
〃 50年7月17日～〃 52年7月16日(かんがい)	早坂和夫
〃 50年10月30日～〃 52年10月29日(土壌肥料)	井磧 昭
〃 51年2月12日～〃 53年5月31日(農業経済)	太田政之
〃 51年12月9日～〃 52年4月8日(畜産)	船津秀雄
〃 52年8月11日～〃 52年12月10日(地下水)	瀝美守男

参考資料4. キリマンジャロ総合開発計画協力の経緯一覧表

年 月	事 項
1968年 9 月 (昭和43年)	ジャマル大蔵大臣より「キ」州開発につき漠然とした協力要請あり。
1970年 2 月 (昭和45年)	「政府派遣アフリカ経済使節団(団長河野文彦氏)」に対しニエレレ大統領より改めて、「キ」州開発につき要請あり
1974年 11月 (昭和49年)	「キ」州総合開発計画書策定のための調査実施(団長大戸元長)
1974年 11月 (同上)	「キ」州農業開発技術協力実施討議議事録(R/D)署名(団長赤塚恵)
1975年 3 月 (昭和50年)	「キ」州総合開発計画書提出(第一次, 大戸レポート)
1976年 10月 (昭和51年)	「キ」州総合開発計画書策定のための調査実施(チーフ・樹下明)
1977年 11月 (昭和52年)	「キ」州総合開発計画書提出(最終, 樹下レポート)
1978年 5 月 (昭和53年)	「タ」政府より「キ」州総合開発計画実施の要請(14項目)あり
1978年 9 月 (同上)	日本側協力実施の大枠(協力可能と考えられる全体像)につき「タ」側との基本了解成立
1978年 9 月 (同上)	農業及び中小工業技術協力実施討議議事録(R/D)署名(団長後藤教基)

JICA